

雄飛

一般社団法人 雄飛会 (福岡工業大学同窓会) 会報 **vol. 25**

発行 一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会) / 会報編集委員会
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL/FAX 092-608-5982
E-mail dousoukai@fit.ac.jp
URL http://www.fit.ac.jp/dousoukai/

硬式野球部



全 心 野 球

チームモットー:

全ての選手が心をひとつに 全てのプレーに心をこめて



建学の綱領

- 一、学後の品性を陶冶し、真の国民としての教養を啓培する
- 一、宇宙の真理を探求し、これを実生活に応用して社会に貢献する
- 一、人類至高の精神、自由平和信愛を基調として世界に雄飛する人材を育成する



「清瀬杯第50回全日本大学選抜準硬式野球大会」全国大会出場!!



準硬式野球部

平成30年度 同窓会育英金受給者決定

今年度は本育英金に12名の応募がありました。応募者の中から書類選考によって候補者を絞り、面接により受給者を決定しました。面接評価においては、①家庭の経済状況、②夢・目標や応募の理由、③家族構成や就学状況、④学業への取り組み姿勢などを重点に行いました。今年度の受給者は以下の通りです。

工学部	知能機械工学科	4年	Iさん
工学部	知能機械工学科	4年	Yさん
工学部	知能機械工学科	4年	Kさん
情報工学部	情報通信工学科	3年	Mさん
情報工学部	情報システム工学科	3年	Kさん
情報工学部	システムマネジメント学科	3年	Sさん
社会環境学部	社会環境学科	4年	Nさん

※個人情報保護の観点から、個人名は伏せさせて頂きました。

学生支援部からのお知らせ

同窓会育英金制度の廃止について

現在の同窓会育英金事業は、平成30年度をもちまして終了とします。平成31年度から同窓会育英金事業に替わり、学業優秀者等を対象に支援する制度を新設します。



この度は、福岡工業大学同窓会育英金を交付していただき誠にありがとうございました。本同窓会育英金が受給できたこと、連絡をいただいたときは、大変うれしかったです。皆様共々、皆様の温かいご支援に感謝しています。選考に携わってくださった同窓会役員の皆様にお礼申し上げます。私の家庭は母子家庭です。経済的な面から考えると、生活費を自分で何とかやりくりすることが精いっぱい、精神的にも体力的にも厳しい時期もありました。しかし、母は私の大学進学を後押ししてくれました。そんな家庭の事情を抱えながらも、大学での勉強の重要性を教えてくれた母への感謝と同時に、その気持ちに答えなければならぬ思いから、同窓会の育英金に期待を込めて応募しました。無事採用していただき、母も経済的負担の軽減から、精神的にも安心を覚え、私も将来への不安な気持ちが軽くなりました。そして、より勉強に対する意識も高まり、より前向きな気持ちで取り組むことができました。今回、育英金を頂けたことで私の学生生活はとて充実したものとりました。本来であれば、学費を捻出するためにアルバイト本位の学生生活となり、勉強は二の次となることもおかしなかったのですが、今回育英金を受給できたことで、学業、卒業研究、そして教育実習にも専念して取り組むことができました。

減が影響している実感し、本当に感謝しています。私の将来の夢は数学の教師となることです。本学で受けた教育への感謝を胸に抱き、教育に携わる者として多岐にわたる可能性を広げる手伝いができるように、生徒一人一人と正面から真剣に向き合い支えていきたいと思います。また、教師として日々学び続け、学業面だけでなく、様々な知見を身につけ、幅広い視野から物事を見ることが出来る教師になりたいと思っています。今回のこうした御好意をしっかりと受け止め、今まで多くの方々に支えられて今の自分が存在していることをしっかりと自覚し、感謝を忘れずに、今後は困っている方々を支えられる側から支える側へなりたいと考えています。そのために、これから社会人として学校の名に恥じることのないように、社会に貢献できる人材になれるよう日々精進していきたいと思っております。今回このような機会を与えて下さった福岡工業大学同窓会育英金の皆様に重ねてお礼申し上げますとともに今後は同窓会活動へ積極的に参加し、福岡工業大学同窓会の皆様に恩返しをしたいと思っております。

平成29年度 福岡工業大学同窓会育英金をいただいて 情報工学部システムマネジメント学科 4年

事務局より

- 1. 募金・名簿などの勧誘について**
民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告」を掲載したいので寄付して欲しいという趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額なようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑」を発行するので、あなたの情報を提供して欲しいという勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。
- 2. 異動の連絡をお願いします。**
毎年発行される会報「雄飛」や交流会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(http://www.fit.ac.jp/dousoukai/)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール・FAX・葉書でも受け付けております。※異動(転居)がなくても、会報「雄飛」等が届かない場合は同窓会事務局まで「報ください」。
- 3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。**
同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他ご質問・ご要望などなんでも結構ですので、ご一しお寄せください。

編集後記
会報誌「雄飛」が21号よりリニューアルしてページ数も増え、記事の内容等試行錯誤し、本年度も無事発行する事が出来ました。ご協力頂いた皆様に深く感謝いたします。皆様の声を反映した紙面づくりを努めますので、今後とも会報誌の発行にご協力をよろしくお願い致します。(企画・広報部)

福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 下村 輝夫



晩秋の候、会員の皆様にかかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃、学生への経済的支援などご尽力賜り深謝申し上げます。

ご承知のように、平成10年から3年を区切りとした第1次マスタープランが開始しました。これは、大学であっても経営体のひとつとして、志をひとつにし組織力で立ち向かうこと、教職員の合意形成を図って不屈の精神ですすむことを主眼に置いたプランです。現在は第7次マスタープラン期間の最終年です。経営・財政力の強化のもと、健全財政と教育・研究活性化の両立を実践しています。

教育力の発揮という戦略目標では、グローバル化・地域連携を包含しつつ、能動的授業や基礎学力補完教育拡大や教授・教育方法の開発などのアクション・プログラムの取り組みで達成を図っています。研究の高度化という戦略目標では、外部との研究交流拡大や文科省選定実績向上および研究活動財政支援強化などのアクション・プログラムの取り組みで達成を図っています。就職力の発揮という戦略目標では、教職協働の就活支援や就活支援メニュー拡大およびインターンシップ拡大などのアクション・プログラムの取り組みで達成を図っています。

これらの成果の一端が、学生の成長と外部評価の高まりに繋がります。我が国初の12年連続入学志願者の拡大という学生募集力強化となつていきます。

教職員一同、学園全体のプレゼンスアップを今後とも実現してまいります。このためには、同窓会と学園の連携が不可欠ですので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生 (昭和45年電子工学科卒)



同窓会の皆様、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年6月に沖縄で定時社員総会、同窓会交流会を実施しました。総会では新役員を選出・活動方針等すべての議案が満場一致で決議され、併せてミュージアム事業の進捗報告がありました。また、交流会には大学法人理事・事務局長の山下剛様を始め全国から180名が参加、エイサーの演舞や琉球演舞に始まり、宮城洋一沖縄県支部長の乾杯(カリー)で交流会へ、旧知を温めたり、沖縄料理に舌鼓を打ったりと終始和やかな交流会になりました。沖縄県支部の皆様への心ももったおもてなしに感謝申し上げます。

同窓会も50年を経過、会員の構成を見ますと、社会の第一線で活躍中のOB・OGの方が殆どですが、リタイヤして地域社会に貢献されている方も増加しており、歴史の積み重ねを感じています。

さて、同窓会活動の収入源は皆様もご存知のように、「同窓会終身会費2万円」が全てです。この財源を「学生支援」「母校の発展」「同窓生の拠り所の確保」などに、効果的に活用しなければなりません。

現在、健全な財政運営を基本に支部活動支援の在り方、同窓会組織活性化の為の情報提供の在り方等、諸活動の見直しを行っています。ミュージアム事業とは、元ドイツ語教授で音響部顧問の秀崎良彦先生が60年以上に亘つ

て主にドイツ・アメリカや日本を中心にエンジニアの蓄音機・ワイヤレコーダー等の音声機器や時計・カメラ等も収集され、自ら必要な修理を行い全て完動品として保存、その一部を大学施設内に「音とモノづくりの歴史資料館」として展示。秀崎先生より同窓会に同館の管理運営に関する依頼を受け、同窓会は50周年を迎えるに当たり「学生」「母校」「地域社会」に貢献でき、また、「同窓生の拠り所」として有益であると判断、母校にご支援頂き、50周年記念事業として取組むものです。

今年度中のリニューアルオープンを目指し、説明用パネルの製作・展示スペースの拡張工事・機器などの展示作業等を計画しています。完成の暁には皆様に見学いただき、ご理解ご支援を通して、「ミュージアム」を皆様で育てる楽しみを味わっていただきたいと願っております。

母校の現状は①入学志願者数が12年連続で増加記録更新中、一般入試の難易度が年々高くなっています。②就職関連指標は全国トップレベル。約7割が上場企業・大手中堅企業へ就職。③教育・研究への積極投資を推進しながらも13年連続して経常収支黒字を維持。など母校は他大学に負けない素晴らしい発展を続けています。

同窓会が皆様のご理解ご協力で盤石な組織となり、皆様の拠り所となることを願っております。

交流会報告

同窓会交流会を終えて

沖縄県支部長 宮城 洋一 (昭和50年通信工学科卒)

平成30年6月30日、会場：ホテルロイヤルオリオンに於いて、沖縄県として待望の福岡工業大学同窓会交流会が開催されました。

これまでの全国交流会は、本校本部にて開催されてきましたが、12年前の本部交流会から2年ごとに首都圏の東京を皮切りに、大阪、東海、そして初めての沖縄県への誘致となりました。沖縄県の同志からは、会場が東海を終えた時点で、是非とも沖縄に誘致しようとの声が高まり、当方としてもこれらの声を背に本部への要請に至った次第です。

そして、いよいよ開催地が沖縄県に決まった時点で、高鳴る気持ちを抑えながら、開催する為には何としても数多くの同窓生を迎え、成功させること

への一心でもありました。その為には、県内の同窓生を100名以上、歓迎を盛り上げる「沖縄文化」の発信の2点に絞り込み、出席者の皆さんが喜んで貰えることを第一に考え、開催前には毎月5回の幹事会を行いました。

同窓会は、本校の歴史を語り、諸先輩、後輩らの人間的成長を垣間見る機会でもあり、将来に至っても融和な人間関係を創る場でもあると思います。福岡工業大学は今後、どのように発展していくのだろうかと思いつつ、その為には先輩らが築いた礎に更なる強固なものを築く、その為には人間的成長と社会に役立つ知識の吸収が必要と

思っています。又、人間的成長を助長する先輩、後輩らとの交流会は、またとない最高の

チャンスと捉えています。

最後にありますが、沖縄住民の通念という言葉があります。この意味は、行き合つ人は皆友人であり、考え方は違つても互いに認め合い、仲良く暮らして行くということです。ある意味、差別することなく、仲良く、楽しく人間的喜びを分かち合うことと同じでしょう。

そのようなことで、どこに行こうかそのような気心と同窓生に対する誇りを持ちつつ、残る人生を歩んでいきたいと思つています。

今般の交流会が成功裡に終わったことに対し、乾杯を捧げ、本部並びに同窓生らのこれまでの尽力に感謝するとともに、喜びある本校の発展を念願して止みません。皆様、本当にありがとうございました。



小柳会長挨拶



法人事務局長山下様挨拶



宮城沖繩県支部長による乾杯



幕開け: エイサー演舞



定時社員総会



山之内氏(右)・宮岡氏(左)による学園歌・応援歌斉唱

支部活動報告

【福岡県北九州支部】北九州支部総会報告

福岡県北九州支部 副支部長 古門 二三夫 (昭和45年電子工学科卒)

雄飛会北九州支部は1994年に組織を立ち上げ第1回の支部総会が開かれました。

この時に同窓生へ電話し、そして訪ねて廻り、支部の設立に貢献をした、副支部長にして会計であった、細井氏が2017年1月に急死されました。毎年の支部総会の2次会で、彼はいつも必ず十八番の「アメリカ橋」を歌っていました。細井氏の青春の想いを彷彿とさせる。高らかに力強い歌声は今も我々一同の記憶にはつきりと残っています。細井氏なくしてはあり得なかった北九州支部、ここに支部一同は心からの哀悼と感謝をささげます。

また、これにより役員の改正を行い今に至っております。筆者はこの時になぜか副支部長に選ばれてこの文を書いております。

我が北九州支部は年に2回、新年会と支部総会を開催しており、参加者は大体30〜40名です。新年会ではホールディング大会、支部総会にはゴルフコンペを親睦会の前で開催しています。

昨年5月29日と今年10月13日には観山荘別館で行われた支部総会に下村輝夫学長へお越しいただく光栄に浴しました。ただ参加者は60〜70代が多く高齢化が進んでおります。若い世代へ、どの様にアピールするかが、今の我が北九州支部の課題となっております。そのためにFacebookに雄飛会北九州支部のページを設けるなどの行動をしています。

筆者は1970年卒業ですが、在学中は激動の時代でした。それにもかかわらず卒業した24年後に同窓会の連絡がきたときは懐かしくもあり、またうれしくもありました。



【佐賀県支部】第10回佐賀県支部総会報告

佐賀県支部 支部長 牧瀬 亥一郎 (昭和44年電子工学科卒)

2012年卒業の方に 参加いただき感謝

9月15日佐賀市「ホテルマリントール創世」にて3年ぶりの第10回総会を開催いたしました。

第10回佐賀県支部総会を開催するに当たり挨拶をいたしました。

後程の議事で役員選出を提案いたしておりますが、役員のほとんどが留任し、新役員2名となっており、支部長も留任となっておりますので、これからの支部長という立場で挨拶をいたしました。

その主たる挨拶は、「参加者23名が少なく感じられる方もいらつしやるでしょうが、わたくしは、毎回参加の方はもちろん、初めての方、久しぶりの方が顔を覚えていただきました。特に、今回は、2012年卒業の方に参加いただき、さらには、今後の役員を担っていただきますこと非常なる喜びであります。参加者が少ないから等の理由で総会を中止すれば、総会開催が今後実施されなくなり、継続していくことが、次につながり、将来につながると固く信じているのであります。皆様おひとりおひとり、福岡工業大学同窓会佐賀県支部を支えていくことではあります。皆様が、そのことが、我々の母校を支えていくことではないでしょうか。」



第2部の大学近況については、本部同窓会、雄飛会、米倉副会長様よりDVDを交えて大学の全貌をお話いただきました。また、同窓会創立50周年記念事業の進捗報告がなされました。さらには、「音とモノづくりの歴史資料館」に展示されている貴重な品々及びRKBテレビで放映された映像など興味をそそるものであります。講演の2つ目では、第1回卒業生 佐賀県支部副支部長(元ニシム電子工業株)の納富正紀様の「現役時代の回想」と題して講演をいただきました。

社会に出た同窓生が世代を超えて集う楽しさは参加しなければ決してわからないものではありません。また多くのものを得ることのできる機会だと思えます。これを読まれた北九州及び周辺にお住まいの方はぜひご連絡ください。



電子通信技術の急速な進捗と電力システムの自動化の進展により、それに必要な制御技術革新が急速に推移していく中で、第1回生として孤軍奮闘された結果、「遠方監視制御装置の開発」等で電力各社より高い評価を受けられました。納富さんは「佐賀県人として先人達の偉業には及ばないが、佐賀県人の根性は発揮できたのでは」と結ばれました。幕末、薩摩は日本では最初に鉄の精錬として稼働した佐賀の反射炉技術を見て、反射炉を建設しては失敗を繰り返した薩摩人に対し、島津斉彬は「西洋人も人ナリ、佐賀人も人ナリ」と言って鼓舞したことを納富先輩に思い重ね描きました。



福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧

(平成30年12月現在)

全国に26のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動をしています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、同窓生を誘って世代を超えた出会いの時間を過してください。

本・支店名(ブロック)	本・支店長名(敬称略)	エリア内訳	
北海道支部	有松 義勝(71・通信)	北海道全域	
関東本部	滝石 義礼(76・電気)	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県	
東海本部	石田 裕人(79・電子)	長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	
関西本部	大明 孝雄(70・電子)	富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	
中国ブロック	鳥取県支部	金川 純(77・電気)	鳥取県全域
	島根県支部	澤田 一(74・材料)	島根県全域
	岡山県支部	名合 憲司(81・通信)	岡山県全域
	広島県東支部	藤井 敏博(74・管理)	福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・神石郡神石高原町・世羅郡世羅町
	広島県西支部	藤本 正宏(79・電子)	広島市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・大竹市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡大崎上島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町
山口県支部	小畑太一郎(78・電気)	山口県全域	
四国ブロック	徳島県支部	羽坂 敏弘(75・電子)	徳島県全域
	香川県支部	山地 正博(76・電気)	香川県全域
	愛媛県支部	岩岡 一平(85・材料)	愛媛県全域
	高知県支部	山本 俊平(78・電子)	高知県全域
福岡県福岡支部	小口 幸一(71・電子)	福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・那珂川市	
福岡県北九州支部	木村 征洋(67・電子)	北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・京都郡苅田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・築上郡築上町・築上郡吉富町	
福岡県筑後支部	西山 友幸(71・電気)	久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・三潴郡大木町・八女郡広川町	
福岡県筑豊支部	松岡伸一郎(71・電気)	飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・田川郡川崎町・田川郡香春町・田川郡添田町・田川郡赤村	
近畿ブロック	佐賀県支部	牧瀬 亥一郎(69・電子)	佐賀県全域
	長崎県支部	松尾 裕幸(72・機械)	長崎県全域
	大分県支部	柴田 廣樹(73・通信)	大分県全域
東北ブロック	熊本県支部	中本 龍二(76・通信)	熊本県全域
	宮崎県宮崎支部	猿渡三喜男(75・機械)	宮崎市・日南市・串間市・都城市・小林市・えびの市・北諸県郡三股町・西諸県郡高瀬町・東諸県郡綾町・東諸県郡国富町
	宮崎県延岡支部	友井 義則(69・機械)	延岡市・日向市・西都市・児湯郡川南町・児湯郡木城町・児湯郡新富町・児湯郡高鍋町・児湯郡都農町・児湯郡西米良村・西臼杵郡五ヶ瀬町・西臼杵郡高千穂町・西臼杵郡日之影町・東臼杵郡門川町・東臼杵郡美郷町・東臼杵郡諸塚村・東臼杵郡椎葉村
	鹿児島県支部	増水 紀勝(67・電子)	鹿児島県全域
沖縄県支部	宮城 洋一(75・通信)	沖縄県全域	

支部活動報告

【福岡県筑後支部】第11回筑後支部総会報告

福岡県筑後支部 支部長 西山 友幸 (昭和46年電気工学科卒)

平成30年5月12日(土)、久留米市内の「ハイネスホテル久留米」にて第11回福岡工業大学同窓会筑後支部総会を開催いたしました。
支部総会は2年毎に定期的に開催され、短期大学部と一体となった支部総会は今回で3回目となり、27名の出席を頂きました。

総会の開催に当たり、支部長 甲木次雄氏よりご挨拶を頂き、その後平成28年度・29年度の活動実績・会計報告および30年度活動計画(案)に続き、任期満了に伴い新役員(案)が提出され、提出された議案はすべて満場一致で承認されました。

続いて、外山 吉計代議員(筑後支部選出)から本部同窓会の活動報告がなされ、「同窓会本部からの支部活動についてのご提言(学生募集、就職の支援等)」、「音とモノづくりの歴史資料館の設置」、「同窓会本部 第16回沖縄大会開催」等についてご報告を頂きました。

大学の状況及び歴史資料館の設置については、現在の質的に発展した大学の現状や電器・通信技術の進歩に考え深いものを感じられた様子で熱心に聞き入れられています。

無事総会も終え懇親会に移り、新支部長より「筑後支部同窓会の持続的発展のため、一人でも多く出席者を増やすことが出来ますよう皆様方の呼びかけをお願いします」と挨拶された後、和やかな雰囲気の中一人ひとりに自己紹介をして頂き、学生当時の思い出や、出席者を増やすための方法を語り合う等、また余興として福引を行い大変盛り上がり親睦を深めることができました。

また、昨年7月の九州北部豪雨により朝倉地区で被災された方へ支援の提案があり寄付金を募ったところ心温まる浄財が集まり、朝倉市杷木地区で復興支援組織の受付窓口・会計班を担当されボランティア活動されている大島 祐嗣さん(平成2年短大 電子情報卒)へ西山支部長より贈呈させて頂きました。

今後の支部活動として、母校の益々の発展に少しでも貢献できるように学生募集、就職支援等どのような取組が出来るのか、また同窓会参加者を如何にして増やし結束力を高めていくのか、これからの課題に新役員で積極的に取り組んで行きたいと考えています。



- 主な新役員のご紹介
- 支部長 西山 友幸氏 (昭和46年 電気工学科卒)
 - 副支部長 岡本 公明氏 (昭和46年 電子工学科卒)
 - 副支部長 石原 一成氏 (昭和51年 電子工学科卒)
 - 事務局長 中野 真也氏 (平成5年 電子工学科卒)
 - 会計 中司 加代子氏 (昭和58年 短大電子工学科卒)
- 以上が就任しました。



山口県内支部会員のみなさまへ
山口県支部総会・懇親会
開催予定
日時：平成31年2月17日(日)
場所：山口県周南市

第31回危険業務従事者叙勲
代議員の橋本文氏(69年電子卒)が
瑞宝双光章(警察功労)を
受章しました。

学生課より

「学生表彰」執り行いました。

11月1日(木)に7団体に「学生表彰」を行いました。

「学生表彰」は平成22年4月に規程を整え制度化されて以来、毎年2回の半期毎にスポーツ・学術文化面において表彰しているものです。

なお、表彰には下村学長より、表彰状とクリスタル製の盾を記念品にお渡しいただきました。

表彰式終了後、松尾学務部長から、「皆さんはスポーツや学術面で優れた功績を残された方々です。この表彰がこれからの活力となるよう激励のお言葉をいただきました。」と述べられ、

今後、益々のご活躍を願ってやみません。



平成30年度上期 学生表彰者の決定について(報告)

区分	団体・氏名	表彰理由
団体	吹奏楽団	第34回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞 第63回九州吹奏楽コンクール 大学の部 金賞
	ラグビー部	第56回木元杯 九州セブズ 準優勝 ジャパンセブズ2018 Consolation 優勝(全国ベスト9)
	女子柔道部	第27回九州学生女子柔道優勝大会(3人制)優勝 平成30年度全日本学生柔道女子優勝大会(3人制)ベスト8
	弓道部女子チーム	第32回福岡県大学弓道選手権大会 女子団体第1位 第32回福岡県大学弓道選手権大会 女子射技優秀校
	FIT AZULONE (タッチラグビー同好会)	第3回タグフットボール全国大会オニオン杯 4位
	FITポケットラボ	第7回サイエンス・インカレ 奨励賞
	マーベルバルビゾンファミリー	全日本ロボット相撲 北海道・東北大会2018 全日本の部 自立型3位

団体7

学生表彰式:平成30年11月1日(木)13:00より
会場:本部棟2階 学長室

強化クラブ 活動報告

硬式野球部

社会環境学部 社会環境学科 3年
(福岡工業大学附属城東高校)
主将 江良 佑介



硬式野球部主将の江良佑介です。私たち野球部は現在、部員107名で神宮大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

私たちは素晴らしい球場や雨の日でも練習することができる室内練習場といった整った設備で何不自由なく野球に打ち込める環境で取り組ませてもらっています。

近年はリーグ戦で思うような結果がなかなかだせずに悔しさと不甲斐ない気持ちでいっぱいでしたが9月に行われた秋季リーグ戦では優勝はできなかったものの2年ぶりとなる決勝トーナメントに進出することができました。今回のリーグ戦で少しではありますが、手応えを感じ、自信もつきました。この結果にだれひとり満足することなく、私たちに足りないところやリーグ戦で出た課題をしっかり克服して今後の決勝トーナメントや春季リーグ戦で優勝し、たくさんの方々に恩返しができるようにがんばります。

これからも硬式野球部への応援、ご支援よろしく願います。

(平成30年10月18日寄稿)



ラグビー部

社会環境学部 社会環境学科 4年
(東福岡高等学校)
主将 佐竹 克基



ラグビー部主将の佐竹克基です。

ラグビー部は1965年に創部された歴史のある部活です。

2018年度のチームスローガンは「PRIDE」で、先輩たちが築き上げてきた歴史や文化に誇りを持ち、次の代に繋いでいくという意味が込められています。部員は約70名で全国大学選手権ベスト8を目指し日々練習に励んでいます。

寮、グラウンド、スタッフ、学校関係者の方々のご支援などのお陰もありとても恵まれた環境で練習をすることができています。

また「勝つ集団」を作るために、礼儀やマナーなど当たり前のことを当たり前にすることを日々実践しています。

地域の方々や応援してくださっている皆様にご感謝と興奮を与えられるよう部員一同努力に励みますので今後とも応援やご支援よろしく願います。

(平成30年10月25日寄稿)



女子柔道部

社会環境学部 社会環境学科 4年
(秀岳館高校)
主将 田中 美穂



こんにちは、女子柔道部主将の田中美穂です。

現在、女子柔道部は部員10名で、練習は週7日の一日3時間を、附属城東高校生と共に城東高校練習場で活動しています。

今年、5月に九州学生柔道団体優勝大会で優勝し、6月の全日本学生柔道団体優勝大会に出場しました。全国大会では、惜しくも3回戦で負けてしまいました。また、個人戦でも9月に行われた九州学生柔道体重別選手権では、63キロ級と78キロ級で1名ずつ3位に入賞し、全日本学生柔道体重別選手権に出場しています。

今年達成できなかった全日本学生柔道団体優勝大会での優勝を目標に、これからも日々の練習に励んでいきたいと思っています。個人戦でも、一人でも多くの選手が全国大会へ出場し、結果を残していけたらと思います。

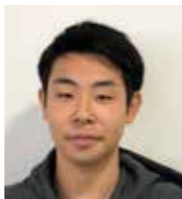
今後も女子柔道部のいい結果が報告できるよう、頑張っていきたいと思います。応援よろしく願います。

(平成30年10月31日寄稿)



吹奏楽団

社会環境学部 社会環境学科 3年
(長崎市立長崎商業高等学校)
主将 草場 裕貴



吹奏楽団主将の草場裕貴です。

福岡工業大学吹奏楽団は、昭和38年に創部され平成12年より常任指揮者に柴田裕二先生を迎え、就任わずか3年目で全日本吹奏楽コンクール出場を果たしました。

これまでに12回連続、通算17回全国大会に出場し、昨年度岡山県倉敷市にて行われた第65回全日本吹奏楽コンクールにて金賞を受賞しました。さらに、昨年度神奈川県横須賀市にて行われた第40回全日本アンサンブルコンテストにおいても、金賞を受賞しました。

今年度は、福岡県吹奏楽コンクール、九州吹奏楽コンクールともに金賞を受賞し、全国大会への推薦をいただくことができました。

現在、全国大会に向けて日々の練習に励んでいるところです。その他にも楽団の活動として、入学式、卒業式などの学校行事や地域の演奏会、依頼演奏にも参加しており、過去には日本を代表する吹奏楽団として海外でも演奏をするなど、幅広い活動をさせていただいております。

これからも、皆様に暖かいサウンドをお届けできるよう精進して参りますので、ご支援頂きますようよろしくお願いいたします。

(平成30年10月19日寄稿)



一般サークル・クラブ 活動報告

キャップ投げ倶楽部

工学部 生命環境化学科 1年
(福岡工業大学附属城東高校)
広報宣伝部長 一ノ瀬 悠太郎



私たち「福岡工業大学キャップ投げ倶楽部」は今年の7月より活動を開始した新規参入のサークルです。
主な活動はベクトルボールキャップ投げというユーススポーツに触れ、キャップ野球の大会に参加や大会の企画をしております。先日10月4日放送されたKBCテレビさんの「ドオーモ」で私たちの活動を取り上げていただきました。このようにキャップ野球というスポーツをメディアを通しての広報も行っています。
その中でリーグ戦を立ち上げ、試合を通して他校との交流も深めており、同時にツイッターによる宣伝もしていこうと思っております。
来年からはFITAアリーナにて大きな大会をしようと思っておりますので開催いたしましたら皆様のご来場をお待ちしております。
これから応援していただくと嬉しいですよ。
(平成30年10月25日寄稿)



人工知能開発研究愛好会

情報工学部 情報工学科 3年(勇志国際高校)
部長 近藤 創太



初めまして、人工知能開発研究愛好会(以下、FITA)部長の近藤創太です。
FITAは、昨年度末に設立したばかりの愛好会です。
主な活動は、近年盛り上がりを見せている人工知能の技術を学習することです。定期的に技術書をかんにんに解説する会や、勉強したこと・開発した物の発表会を開いています。
現在の部員数は7名と少人数ですが、今年のオープンキャンパスではスマートフォン(iPhoneのSiriのような会話するもの)を自作し、展示しました。
在籍している者の中には、自分の研究に人工知能を絡め更なる成果に繋げようと考えてメンバーや、大学に入学したての1年生もいます。一方的に教える・教えられるだけではない、学びあい教えあうコミュニティとして運営しています。まだ部室もなく、不安定な運営状態ですが、大学の設備を大いに利用させていただき、楽しく開発を行っています。
これからの目標は、外部イベントやオンラインコンテスト等に参加し、部としての実績を残すことです。
こうした活動を通して、個人はもちろんサークルとしても成長出来るようにさらなる挑戦をしていきたいと思っております。
どうぞ応援よろしくお願致します。
(平成30年10月18日寄稿)



タッチラグビー同好会

工学部 知能機械工学科 2年
(長崎県立大村高校)
主将 遠谷 捷



タッチラグビー同好会主将の遠谷捷です。
私たちタッチラグビー同好会は、一般的なラグビーのイメージとは異なった安全なラグビーを楽しむサークルです。部員の全員が、タッチラグビー初心者であり、ラグビー経験者、ラグビー初心者問わず誰もが楽しんでプレーできる活気あるサークルです。現在部員は選手22名、マネージャー2名で週1~2回活動しています。
これまでの大会の結果は、全国大会である第2回淡路島オニオンカップにて第4位、続く第3回淡路島オニオンカップ第4位、タッチラグビー九州大会では二度の準優勝、タグフットボール九州大会では優勝という結果を残しています。
また、タッチラグビーというスポーツが、まだまだマイナーなスポーツであるため、他大学との学生とは交流は比較的少ないとは思いますが、その代わり社会人の方々の関係が深いものとなっております。社会人の方々と関わることは勉強になりますし、私自身、社会人の方々と九州のタッチラグビー界を盛り上げていくべく尽力しています。マイナースポーツであることは逆にチャンスでもあると私は考えています。日本代表も夢ではないと思えます。
これからも、日々の練習を頑張り、タッチラグビー同好会をさらに躍進させるとともに、福岡工業大学という名前を広めていきたいと思いますので、ご支援よろしくお願致します。
(平成30年10月18日寄稿)



模型同好会

工学部 電気工学科 1年(東福岡高校)
部長 田中 敦也



こんにちは、模型同好会です。我々は、3年前に発足し昨年度に愛好会として認可され、本年度から同好会として活動しています。部員数は9人とまだ少ないですが、これから部員数を増やし、活動の幅を広げていくために日々制作に励んでいます。
主な活動内容として、各自が作りたいものを決めて自由に制作活動を行っています。また、オープンキャンパスや、学術文化祭、立花祭の際には部員同士でテーマルールを決めて模型コンテストの開催もしています。
学外での活動としては、年に2度佐賀で、年に1度北九州で開催される模型展示会に参加し、学生から社会人の方まで幅広い世代の方々と交流を深めています。また、本年度からは福岡県周辺だけでなく、本州の展示会にも参加していこうと思っており、代表者数名で2月に大阪で開催される「高石模型祭り」への参加も計画しております。
来年度からは、雑誌や企業主催のコンテストへの参加も計画していますので模型同好会のこれからの活躍にご期待ください。
(平成30年10月18日寄稿)



あの先生は今

「出会いに感謝」
上野動物園に「カンカン」「ランラン」2頭のパンダがやってきた年の3月、私は短大を卒業し、4月から福岡の民放FMラジオ局「エフエム福岡」に入局、アナウンサーとしての第一歩を踏み出しました。4年後、フリーランスとなり、現在も同会や話し方の講師、講演、朗読などの仕事をさせていただいております。永きに亘り仕事を続けてこられましたのは、家族の協力や、周囲で支えてくださる皆様のお陰であることは勿論ですが、アナウンサーという憧れの仕事に就けたことが一番だと考えています。

卒業を控え、プログラマーの道に進むか、アナウンサー試験を受けるかで迷っていた私に、エフエム福岡のアナウンサー採用試験を受けるように励まし、後押しをしてくださったのが、所属していた部活の先輩方でした。部活の名前は「半導体回路研究部」、大学の部活でしたが、短大生である私を快く受け入れてくださいました。当時、部室には、狭いながらも小さな手作りのスタジオがあり、番組の送信もできました。先輩方はそれぞれに得意分野をお持ちで、半導体が得意な方、真空管が好きなお方、アナウンスを教えてくださいな方、音楽に詳しい方等々、個性豊かな先輩方に囲まれて、番組制作の楽しさを体験することができました。私のアナウンスの原点は二年間の部活動にあると言っても過言ではありません。先輩方との出会いに、心から感謝しています。

因みに、45年連れ添っております夫も福岡工業大学電子工学科の卒業生です。

赤穂 悦子(旧姓 戸川)
(昭和47年短大電子工学科卒)



活躍するOB・OG

学園歌

あ、玄海に陽は落ちて
紫紺にかすむ立花の
馨床しき峯の色
学徒の夢をそゝるかな
雲はるかなる北洋や
仰ぐ北斗のまたたきに
想いは遠し故郷の
山河新たに胸に沁む
さあれ若人永遠に
汝が生命は火と燃えて
行くや世界の真原理
貫きとめん福工大

第一応援歌

風荒れさわぐ玄海の
海波ひとたび怒りなば
朔北の雄福工大
闕下にいどむ戦いに
勝利の戦旗奪わんと
盟友会す決戦場
工大 工大 若き工大
あ、団結の力こそ
今激闘の唯中に
栄光かけていざ征かん
決死奮戦倒るとも
断固と護れ青き旗
鮮血にじむ学園旗
工大 工大 若き工大
ライトブルーの旗の下
天下の雄を摺伏し
あげるかちどきたからかに
きけ玄海の唯中に
ひとり雄叫ぶ福工大
万古の歴史きずかみや
工大 工大 若き工大

私は、1990年に管理工学科に入学しました。部活動は、少林寺拳法部に入り、主将を務めさせて頂き、全九州学生連盟にも従事しました。また学生自治会実行委員会に所属し、立花祭の企画運営にも携わりました。大変充実した4年間は、よい思い出です。

卒業して30年以上たった今でも、少林寺拳法部で指導下だった桑原監督はじめ、多くの職員の方々のお世話になっており感謝しております。

卒業後、最初の就職は、某大手OA機器の営業職でした。男社会そのものの環境でしたが、体育会系の強みを生かし、仕事に没頭しました。30才が近づく頃、仕事と人生について考えました。

柴田 須美代(旧姓 井出)
(平成6年管理工学科卒)



半導体回路研究会

(1972大学卒業アルバムより)

在校生の皆様も、人と出会い、ものとの出会いを大切に、今を大切にお過ごしください。

『キャリアか』『結婚か?』
会社には、産休 育休などの規約はありましたが機能はしておらず、どちらかを選択するしかないのが実情でした。そこで、私は、外資系プロセッサとして自立の道を選択しました。グローバルスタンダードの目標設定とモチベーションの学びやセールスを通じて、活躍する世界のビジネス・パースンと多数お会いしました。

昨今、女性の社会進出が叫ばれていますが、日本はまだまだ課題山積です。

私は今、結婚して子供が2人います。自立の道を選んだおかげで、仕事を調節しながら、母親業も精力的に楽しんでいます。

これからも自分の可能性にチャレンジして、夢を追い続けます!!!

学生の皆さん、これから国も会社もあなたの人生を守ってくれません。自己責任の時代です。たった1度の自分の人生を自由に大きく羽ばたいて下さい。



(1994大学卒業アルバムより)

決算・予算報告

平成29年度決算 平成29年度収支計算書(H29.4.1~H30.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	21,820,000	大会費	0
雑収入	69,068	理事会費	809,039
前年度預り金	△2,370	企画・広報費	3,899,080
当年度預り金	2,890	組織支援費	3,914,359
年度収入合計	21,889,588	学生支援費	4,615,000
前年度繰越金	104,082,166	事務局費	4,713,601
		特別記念事業費	0
		予備費	853,000
		年度支出合計	18,804,079
		次年度繰越金	107,167,675
合計	125,971,754	合計	125,971,754

平成29年度貸借対照表(H30.3.31現在) 単位:円			
資産の部		繰越金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	125,920	預り金	2,890
普通預貯金	62,482,297	前期繰越正味財産	104,079,276
定期預貯金	44,559,458	任意積立金	95,881,114
		特別記念事業費積立金	8,198,162
		当期正味財産増減額	3,085,509
合計	107,167,675	合計	107,167,675

※任意積立金は基本金、動向調査費積立金、同窓会館建設費積立金等の項目を合算表示しています。

期中増減額(H29.4.1~H30.3.31) 単位:円			
区分	H29.3.31現在	期中の増減	H30.3.31現在
現金・普通預貯金	59,524,245	3,083,972	62,608,217
定期預貯金	44,557,921	1,537	44,559,458
合計	104,082,166	3,085,509	107,167,675

平成30年度 代議員一覧 (平成30年6月~)

氏名	卒年科	役職	専門部会	選出地域
小柳 辰生	70電子	会長		福岡支部
米倉 和實	70電子	副会長	企画・広報部	福岡支部
桑原 雅浩	83電気	事務局長		福岡県
田中 睦教	66電子	理事	組織支援部	福岡支部
外山 吉計	71通信	理事	財務部	筑後支部
楠本 總幸	71通信	理事	学生支援部	福岡支部
齋藤 文親	67電子	監事		福岡県
松尾 正博	69電子	監事		福岡県
滝石 義礼	76電気			関東ブロック
石黒 佳一郎	72通信			関東ブロック
石田 裕人	79電子			東海ブロック
大明 孝雄	70電子			関西ブロック
川谷 伸一	90機械			関西ブロック
藤本 正宏	79電子			中国ブロック
岩岡 一平	85材料			四国ブロック
小口 幸一	71電子			福岡支部
萩田 寛司	72電子			福岡支部
小柳 礼二郎	74電子			北九州支部
松岡 伸一郎	71電気			筑豊支部
柴田 廣樹	73通信			長崎・佐賀・大分
中本 龍二	76通信			熊本・宮崎・鹿児島
宮城 洋一	75通信			沖縄県支部
橋 豊文	69電子			福岡県
松尾 一壽	71電子			福岡県
北村 敏幸	81通信	学生支援部		福岡県
本行 義洋	84通信	組織支援部		福岡県
小松 時浩	86管理	組織支援部		福岡県
藤野 和美	92電気	企画・広報部		福岡県
矢羽 田誠一	69短大			福岡県
倉光 真紀	92短大			福岡県
百原 武敏	67電子	相談役		

平成30年度予算 平成30年度収支予算(H30.4.1~H31.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	21,240,000	大会費	6,400,000
雑収入	760,000	理事会費	2,050,000
H29年度預り金	△2,000	企画・広報費	4,050,000
H30年度預り金	2,000	組織支援費	6,024,000
年度収入合計	22,000,000	学生支援費	4,650,000
前年度繰越金	107,167,675	事務局費	8,361,000
		特別記念事業費	13,000,000
		予備費	1,000,000
		年度支出合計	45,535,000
		次年度繰越金	83,632,675
合計	129,167,675	合計	129,167,675



訃報 園田 義男 様 (1969年管理卒)

園田義男様(享年72)が平成30年1月にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表すと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。

<経歴>
日本の柔道家(講道館9段)。福岡工業大学在学中に全日本学生選手権大会や世界学生選手権大会、ユニバーシアード等で優勝を果たし、社会人になってからはメキシコシティで開催の世界選手権大会で優勝を成し遂げた。引退後は指導者として、福岡工業大学附属城東高校で谷虎子や日下部基栄等を育てた事でも有名。のら同校の校長を務めた。(Wikipediaより抜粋)

同窓会会員子弟の受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学の同窓会会員(在学生を含む)の子供、兄弟姉妹が本学の入学試験を受験される場合は、すべての受験料が免除の対象になります。

	入試区分	受験料
大学	専願制推薦・公募制推薦・3教科型	30,000円
	センター併用型(社会環境学部のみ)	5,000円*
	センター試験利用(前期・中期・後期)	15,000円(4学科まで)
短大	専願制推薦、自己推薦	25,000円
	公募制推薦、一期A・B、二期	25,000円
	センター試験利用入試(前期・後期)	10,000円(2学科)

*但し3教科型入試(社会環境学部)を受験していること。

免除を希望される方は、インターネット出願の入力画面に従って、同窓会会員の方の情報を入力してください。(卒業年度、卒業学科、続柄等)

■問合せ先
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 入試課
TEL:092-606-0634(直通) FAX:092-606-7357
e-mail:nyushi@fit.ac.jp

学園の歴史探訪

応援団が未だ存続して活動をしてきた昭和54年の春、何処から聞こえてくるのか第一応援歌のメロディ。耳を澄ますと7号館裏にある木造のクラブハウスからです。張り裂けんばかりの怒号と歌声に気迫を感じその方向を恐る恐る辿って行く。と木造のクラブハウスの一番奥の部屋に辿り着きました。部屋扉には「福岡工業大学応援団」とでかい表札が掲げられており、自ずと納得したのを思い出します。応援団の部屋付近をたまたま通りかかった応援団に挨拶したばかりの同級生にこの第一応援歌の気合と気迫は応援団の魂が強く伝わるけどいつもこんな声を出すの？と尋ねると。同級生曰く今週末、九産大で硬式野球部のリーグ戦があるけん俺たちの応援で福工大を勝利に導かないかんから団長を始め、団員一同必死の覚悟なんよ。九産大にも応援団があるけん俺たちも奴らに負けられんとせ。」と粋に話してくれました。私は、応援団員の体を張った真剣な応援姿勢に感銘を受け、応援団員の方々に心から敬意を表し自分自身、これからの人生、何事にも真剣に覚悟を持つて取り組もうと決意したのを思い出します。また、第一応援歌の歌詞には工大魂の神髄が刷り込まれていると思います。何もラグビー、野球、柔道などのスポーツ競技の応援に留まらず、社会の荒波にのまれ挫けそうな自分をも励まし鼓舞する歌詞として捉えても良いのではないのでしょうか。

一、風荒れ騒ぐ玄海の 海波ひとたび怒りなば
朔北の雄、福工大 闕下に、いどむ戦いに
勝利の戦旗奪わんと 盟友会す決戦場
フレー フレー フレー 福工大

二、君、雷霆の怒り見よ 我らの護神、触れるもの
皆ごとごとく打倒せん 軍門に伏す敵の旗
踏み越え行かん福工大 最後の止めさしとめん
フレー フレー フレー 福工大

三、ああ団結の力こそ 今激闘の唯中に
栄光かけて、いど征かん 決死奮戦願うとも
断固と護れ青き旗 鮮血にじむ学園旗
フレー フレー フレー 福工大

四、健児四千幾百の 興亡負うて決戦に
進み出で行く戦士団 わするな、青き学園旗
命の限り護りぬく ああ、栄光の福工大
フレー フレー フレー 福工大

五、ライトブルーの旗の下 天下の雄を摺伏し
あげるからどき たからかに きけ玄海の唯中に
ひとり雄叫ぶ福工大 万古の歴史きざかんや
フレー フレー フレー 福工大

加えて、第一応援歌の歌詞の表現は正に生死を分ける戦場であるとも窺えます。私が前号雄飛24号に寄稿した立花道雪、宗茂や闇千代の姿、生き様をも彷彿する戦国の世を感じずにはられません。

現代に生き抜く私たちは、その歌詞の意味を卒業生であれば厳しい社会に置き換えて前へ前へと肅々と戦い抜く自身を鼓舞する支柱として捉えて欲しい。工大マインド：工大魂の醸成はあなた方一人ひとりの意識の問題だと思います。

大学の教育環境がどんなに新しく、様変わりしても一貫したものは、建学の精神であり、学園歌・応援歌であり、大学籍の方であれば4年間キャンパスで学んだ事実であると思います。(短大生は2年)これは変えることができない普遍的なものの一つであると確信します。

同窓会は、会員一丸となつてこの普遍性を共有して学園の発展のために何が出来ることが問うて行かねばならぬと思料するものであります。全国に組織されている各県各地の支部活動において志願者対策、就職対策、教育研究費支援など画期的なアイデアが提示されることを期待しております。

園田

福工大には学生を鼓舞し励まし工大魂を培う歌がある。
「OB、学生に告ぐ、第一応援歌に工大魂を覚醒させよ」

一般社団法人 雄飛会
福岡工業大学同窓会 事務局長
桑原 雅浩 (昭和58年電気工学科卒)

